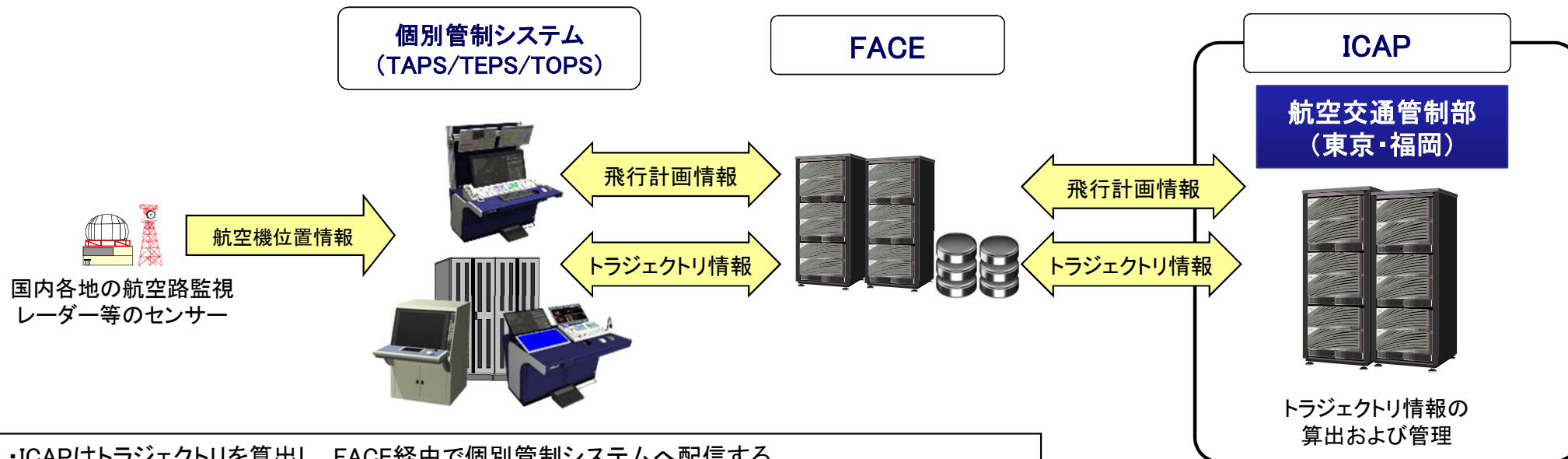


管制支援処理システム(ICAP)の概要

ICAP (Integrated Control Advice Processing System: 管制支援処理システム)

ICAPは、航空管制官による戦略的な意思決定を支援するため、飛行計画情報、気象情報、レーダーデータ(位置情報)等の情報をもとに航空機の軌道情報(トラジェクトリ情報)の処理を行う。

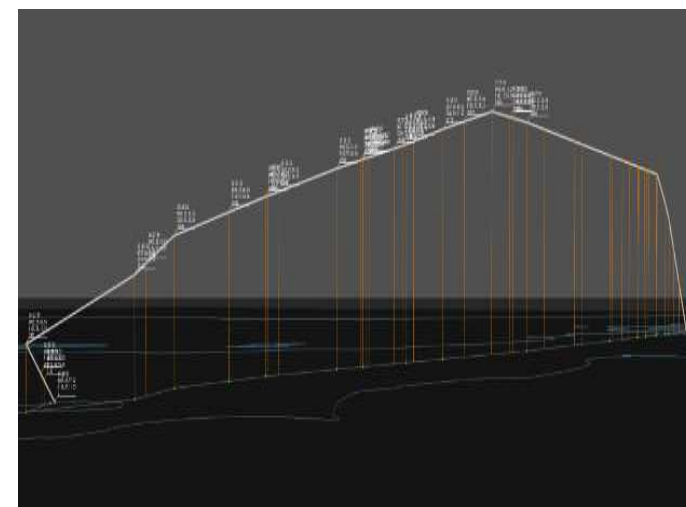


- ・ICAPはトラジェクトリを算出し、FACE経由で個別管制システムへ配信する。
- ・個別管制システムでは細かな航空機の姿勢や状態及び気象情報を加味し、トラジェクトリ情報を修正し、FACEを経由してICAPに送信する。
- ・ICAPは、個別管制システムにより修正されたトラジェクトリ情報を取り纏め、精度の高い情報に更新したうえで共有する。

トラジェクトリ

軌道情報(トラジェクトリ情報)は、レーダーデータから得られる航空機位置などから計算・予測された、航空機の軌道を定義する地点情報(緯経度、高度、など)とその時刻の集合体(4次元)である。

管制業務を実施するには、現時点での情報に加え将来予測が必要であり、航空管制官に戦略的な意思決定のための情報として提供する。



トラジェクトリ情報(可視化イメージ)